



HSK

うづき
卯月号

NO.113 2010.4.10号

Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号457号

発行/2010年4月10日

編集者/我妻 武

住所/〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMOI F

特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323

H P <http://npolife.net/>

発行/北海道障害者団体定期刊行物協会

定価/100円

新年度を迎えて

— 私たち自身の手で描き直そう —

理事長 深澤正義

ライフは今年で開設10年を迎えました。これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

昨年は組織体制の強化と経営基盤の確立、雇用の場の確保と拡大に重点をおき、理想と現実の狭間のなかで紆余曲折しながら一年を乗り切ってきました。

働く場の事業所づくりに昨年以上に努力しなければなりません。なぜなら「働く場がほしい人」「高い工賃がほしい人」が増えてきているからです。

そのためには民間企業に劣らない信頼されるいい仕事をして利益を上げて安定した事業所づくりが求められています。そのためにはアウトソーシングセンター「元気ジョブ」の営業マン4名の努力とライフ全体で支える体制が不可欠です。

無論、各事業所の課題と基盤づくりに全員が一致してとり組まなければなりません。ライフは、「人の歩みと志」によって育てられてきましたが、今後とも皆様の貴重なご意見をいただき私たち自身の手でさらに描き直していきたいものです。



ライフの新たな挑戦（チャレンジ）にむけて

早いもので、ライフがNPO法人としてスタートして10周年が経ちました。前身となる小規模作業所が5名の障害者と4名の支援者でスタートしてから、22年になります。その間、障害者の働く場と生きる場づくりを合言葉に歩んできましたが、今や100名を超える人たちによって運営される事業体となりました。

しかし、まだ目標を達成するには至っていません。

今年行うライフの総会を10年の一区切りとして、私たちは新たな10年の挑戦（チャレンジ）に向けた目標を立てたいと思っています

【NPOライフがスタートして10年】

ライフの前身となる障害者ワープロフロアーが誕生したのは、1989年です。今ではワープロという言葉も少々古臭く感じますが、ワープロという当時の最新のOA機器を使って障害者の就労につなげようと始めました。この最先端のOA機器を使えば、重度の障害があっても働いて収入を得ることも可能ではないかという考えからでした。

スタートは、二十四軒の古い一軒家の一室からでした。少しずつ障害者が増え、また、将来の自分たちの生きる場である「共同住宅」をつくることを目的に、2000年にNPO法人を取得しました。

その後は、少しずつ事業を拡大して今や100名を超える障害者や健常者によって運営されて

いますし、職域も広がりました。スタート時からの大きなテーマとして、「共働と共同住居」があります。

「共働」は、言うまでもなく障害のあるなしに関わらず、共に働き、共に汗を流す。そして、共に生きていることを喜び合える場を作ろうと呼びかけてきました。

しかしながら、2003年に施行された支援費制度や、その後の2006年に施行された障害者自立支援法に多くの障害者が翻弄されたように私たちのNPOも翻弄されました。そのような厳しい状況の中でも、単純に福祉制度に依存する事業所ではなく、私たちも社会に貢献できる事業所になろうという考えに基づいて努力しているところです。



NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

【小さな所帯から大きな所帯へ】

ライフの事業所でも、就労条件に関しては、いわゆる福祉的な就労と呼ばれている事業所から共働事業所と名付けている雇用契約を結んだ事業所まであります。こうした歴然とした格差があることも事実です。理事会としても、これらの格差解消を図ることに努めていますが、なかなか思うように進んではいません。

さらに、小さな所帯の時には目標の共有化もしやすかったのですが、大所帯となると、それもなかなか上手く出来ないまま、事業の拡大などに突き進んできたことも反省として上げられると思います。

100名を超える集団となったライフは、出発時の個人商店的な色合いの濃い事業所から脱皮し、法人組織にふさわしい組織再編をすすめ行動するかという転換点でもあります。そのために内部の格差解消を図ることはもちろんですが、そのことを通じて広く社会の格差解消を図ることも私たち法人の大切な役割だと思っています。



共働サービス たねや 作業風景

【社会的事業所づくりへ、そして共同住居の確保へ】

そのために私たちのライフに集う方々の人権を最大限に尊重しながら、その方々が地域の中で当たり前のように暮らしていけるような環境を作る努力をするとともに、そのための働きかけを広く行っていきます。さらに仕事の職種などを広げるなどの工夫をして障害者だけではなく、社会的に困難を抱えている様々な人たちとの共働を実現していく社会的事業所を目指していきます。

これはライフがこれまで訴えてきた障害者も



ふるさと雇用再生特別対策推進事業 傍楽亭
(古巣の二十四軒に新たに開設した)

健全者も共に働き、社会的・経済的自立をめざすことを考え、従来の福祉的就労でも一般就労でもない、「第3の働き方」の提案と実現に向けた活動目標であります。

そのことによって単に福祉に依存するのではなく、積極的に社会に関わり、社会に貢献していく事業を目指していきます。

そして、「共同住居」に関しても長年の課題になってきましたが、より具体的に取り組みを進めるように考えているところです。

いずれにしても、来る総会で皆さま方に新たな挑戦にむけての議論を提案しながら、進めていきたいと考えていますので、引き続きライフに対するご支援をお願いいたします。

最後になりますが、NPOライフのスタート時からの理事として、また共働事業所「もじや」の所長としてご尽力をいただいた影山香澄さんがこの2月に定年退職となりました。紙面を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

【文責：理事・事務局長 我妻 武】



ひだまり配送センター 作業風景

「障がい者制度改革推進本部に期待するもの」

政府は今年の政権交代に伴い、障害者を取り巻く様々な制度上の問題について改善を図るための議論を始めました。

そこで、昨年12月15日に「障がい者制度改革推進本部」（本部長＝鳩山由紀夫首相）は初会合を開き、障害者施策の推進に向け、下部組織として「障がい者制度改革推進会議」を設置し、意見を求めることになりましたが、メンバーのうち14人が障害当事者や家族で占められています。

（障がい者制度改革推進会議構成員名簿）

大久保 常 明	(福) 全日本手をつなぐ育成会常務理事
大 谷 恭 子	弁護士
大 濱 真	(社) 全国脊髄損傷者連合会副理事長
小 川 榮	日本障害フォーラム代表
尾 上 浩 二	(NPO) 障害者インターナショナル日本会議事務局長
勝 又 幸 子	国立社会保障・人口問題研究所情報調査分析部長
門 川 紳一郎	(福) 全国盲ろう者協会評議員
川 崎 洋 子	(NPO) 全国精神保健福祉会連合会理事長
北 野 誠 一	(NPO) おおさか地域生活支援ネットワーク理事長
清 原 慶 子	三鷹市長
佐 藤 久 夫	日本社会事業大学教授
新 谷 友 良	(社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会常務理事
関 口 明 彦	全国「精神病」者集団運営委員
竹 下 義 樹	(福) 日本盲人会連合副会長
土 本 秋 夫	ピープルファースト北海道会長
堂 本 暁 子	前千葉県知事
中 島 圭 子	日本労働組合総連合会総合政策局長
中 西 由起子	アジア・ディスアビリティ・インスティテート代表
長 瀬 修	東京大学大学院特任准教授
久 松 三 二	(財) 全日本ろうあ連盟常任理事・事務局長
藤 井 克 徳	日本障害フォーラム幹事会議長・日本障害者協議会常務理事
松 井 亮 輔	法政大学教授
森 祐 司	(福) 日本身体障害者団体連合会常務理事・事務局長
山 崎 公 士	神奈川大学教授
オガバー遠藤和夫	日本経済団体連合会労働政策本部主幹

(敬称略五十音順)

これまでも政府の障害者関係の審議会等には障害当事者は参加していましたが、制度設計や政策立案等の部分で障害者当事者が多数関わることは稀でしたから、ようやく生活者の視点が生かされるものと期待が寄せられています。

会議の進め方も画期的で、議事の資料はHPで公開されていますし、会議の様子はホームページ上から動画を見ることもできます。さらに知的障害当事者に配慮して、会議の内容や休憩が欲しい時などイエローカードを上げるように案内がされているそうです。当然ながら配布される資料にはほとんどが読み仮名(ルビ)が付けられています。こうした情報保障の背景には、事務局トップに自らも障害を持ちながら弁護士として障害者の人権確立のために活動やDPI活動を通じて障害者の権利条約にも日本政府の代表団として加わってきた東俊裕・同会議担当室長(内閣府参与)の役割が大きいといえます。

しかしながら、国外的には障害者権利条約の取り組みについて、国内問題としては、権利条約を受けて、障害者自立支援法等をどのようにするか等の課題が山積しています。

すぐに解決を望む方も多いでしょうが、一朝一夕には解決しない問題ばかりですから、推進会議での議論を見守ることと、それらを受けて私たちも議論に参画していくことが重要でないかと思っています。会議については、これまで8回開催されていますが、議論の内容等については以下のアドレスからご覧下さい。

内閣府ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/kaikaku/kaikaku.html>

【文責：理事 我妻 武】

共働サービスたねや

たねやの仕事とは???

たねやでは、2010年の1月より軽作業の他に、清掃委託事業・その他委託事業(ソーラーパネルづくり)を行っております。今月号には各事業の説明をさせていただきます。次回号より連載形式で仕事に対するメンバー・スタッフの感想と今後の対策を記載していきたいと思っております。

ソーラーパネルの説明

「電動車いすに太陽光発電で動かしてみたい」という思いから事業が始まりました。

◆太陽光発電の電池づくり◆

「電池づくり」はセルというパネルにアルミ製のリボンを焼きつける作業を行います。非常に割れやすい材質なので、慎重に作業を進めました。



◆ラミネーターについて◆

34枚に連結したパネル(セル)を「ラミネーター」という機械に入れて強化ガラスを圧縮するため、専用シート等を使い、その圧縮したパネルを外枠して導線をつなぎ、通電チェックをして完成です。

◆仕事の流れ◆

- 1・セルにリボンをつける。
 - 2・リボンづけしたセルを連結する。
 - 3・連結したものをラミネーターにかける。
 - 4・それに外枠をつける。
 - 5・導線をつけて通電チェックを行い完成。
- ※作業は7人で行い、12月25日から作業を開始し3月26日に全て納品完了しました。

「ソーラーパネルの感想」 鈴木 麻依

初めて体験したソーラーパネルの仕事で最初、様々な不安や心配、ときには私自身、途中でくじけそうになるときもありました。けれども私は、その度に何度も心の中で「ここで諦める訳にはいかない、諦めてしまったらそこで終わりになってしまう後悔はしたくない、きちんと自分ができていることを精一杯やって気持ちよくおわりにしたい」そう自分に言い聞かせ、励ましながら今まで自分なりに一生懸命頑張ってきました。ソーラーが無事に終わって良かったです。今度また、この仕事があったときには是非またソーラーパネルをやりたいと思います。

清掃の説明

たねやでは、毎週月～金曜日まで長靴工場と、毎週火曜日に元小学校の建物に行き、清掃の仕事を行っています。毎日4、5名のメンバー、スタッフで行っています。長靴工場は、男女のお風呂場、更衣室、トイレ(6室)元小学校の建物は、廊下、トイレ(11室)階段を掃除しています。

「掃除の感想」

井口 真二

長靴工場に4月から週4回行ってます。お風呂の汚れをきれいにしています。浴槽の中をブラシで洗ってます。自分のお風呂より大きいので大変でした。トイレは6個あり、時間がかかります。順番が多いので大変でした。初めて清掃に行って、戸惑いながら周りの人に聞いて仕事をしています。

軽作業の説明

折作業、チラシ差し込み、ローソクづくり、ポストイン等を中心に活動しています。

メンバーがソーラーパネル・清掃に分かれたことにより軽作業に不安があったが、ひとりひとりの仕事意識が上がるというメリットがありました。今月は折や差し込みを中心に、個人個人が最大限に力を生かし仕事に取り組むことができました。今後は1人1人が得意分野を伸ばしスキルアップにつなげていきたいです。

「第31期オセロ名人戦に参加して」



岡林 満美

日本のオセロ界で三つの大きな大会の一つが全国名人戦で3月の21日(日)に北海道から選ばれて行ってきました。参加者は175人で、障害者は僕一人だった。成績は4勝3敗で69位でした。四段や五段の人達がザラな所で、勝ち越せたのは、大きなことだと思います。でも、あと1勝すれば四段になれたのにいつもあとひとつ勝てないのは、僕らしいところなのかな?(笑) これからもそれにめげず、頑張りたいと思っています。

ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

ゆい
繭結



管理者 笠井 衛二

私たちヘルパーステーションの仕事は、障害者やお年寄りのお手伝いをすることです。

公的な制度を利用してお世話をする場合、お手伝いをする人も資格が必要となります。その資格の一つがヘルパーの制度です。ヘルパーは3級、2級、1級と分かれており、級によってできる事も決められています。資格はヘルパー養成学校で研修を積みば授与されます。費用は10万円位、通学と通信のコースがありその人の状態に合わせて選ぶことができ、期間は2カ月間位です。また2級と1級を連続して取ることも可能です。

ヘルパー資格は繭結で働くには最低限必要な資格といえます。そのヘルパーを三年間実務として重ねると介護福祉士と



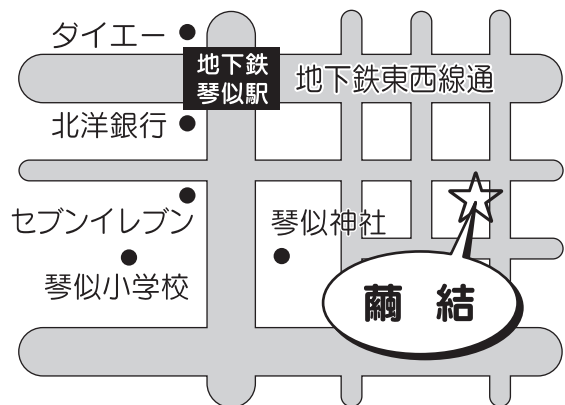
いう資格の受験資格が得られます。介護福祉士はヘルパーと違い難しい国家試験に合格しなくてはなりません。毎年の合格率は7割程度といわれています。介護福祉士になると介護計画作成者という、介護を統括して動かす責任者の役割をすることができます。繭結では介護福祉士は4人、サービス計画作成者としては2人の職員がその重責を担っています。

また障害者も65歳以上になると制度は自立支援法から介護保険法に移行します。自立支援法の区分から介護保険法の要介護度が変わりますが、介護保険では細かい手続きやプランはケアマネージャーという資格者が代行します。これは自立支援法にはない仕組みで、繭結も介護保険対象者にヘルパー派遣をしています。介護保険でのプランや支援計画作成の仕事についてはしていませんが、ケアマネージャーとしての有資格者を2人配置しています。



以上のように、ヘルパーステーション繭結では、ヘルパーの資格者2級9人、1級資格2人、介護福祉士2人、ケアマネージャー2人と人員を配置し、居宅介護、重度訪問介護、移動支援、訪問介護等を行っています。

ですが、今ヘルパーさんの担い手が不足しています。幾度か募集をしておりますが、残念ながらあまり成果は表れておりません。特に障害者へのヘルパーについては、労多くして喜びなしとの風潮も強く、人集めと定着、育成に難儀しているのが当方の実態です。このままいけばどうなるのか。ヘルパーの質向上や意識変革は必要と思いますが、ご利用者の一部には「障害者の援助は当たり前」とばかりに無理なご要望もあり、人手不足の遠因になっているのも事実です。ヘルパーは職業です。ご理解を。



札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F
TEL011-623-2505 FAX011-644-0088

共働事業所

もじや

やっと春がきました

酒呑童子登場！

〈春を待つ〉

季節はずれの雪が舗道をぬらしている。

コートのをりを立て背中を丸めながら、足ばやに若者達が通り過ぎていく。

新しいモノがすぐに古くなってしまい、パソコンが無ければはじまらない時代になってしまった。

考えて悩んで出した答えに、それでも不安を感じるアナログ的人間は、時代遅れになってしまったのだろうか。

時間をかけて出した答えそのものよりも、答えを導き出すために費やした時間が、やがて努力という名の無形の財産になる。

例えば、短時間の“探す”作業で得た答えと、紆余曲折しながら、たどりついた答えが、同じだったとしてもそれは、決してムダな時間を費やしたことにはならない。むしろ、もがき苦しみながら、自らを成長させていくために必要な行為なのだと思う。

歳月は時代を変え、人をも変えてしまう。だからこそ自分が自分であるために、自分の頭で考え、自分の言葉を伝えたい。

私は幸せな事に笑い、絶えない職場に巡り合えた。

皆、悩みをかかえながらも、支え合って生きている。そんな仲間に頭が下がる。

降りしきる雪もいずれは止むだろう。

桜のつぼみは、寒さに耐えて確実にやってくる春を待っている。

「酒呑童子」と正義の味方の正体は4月から新しくもじやのスタッフになりました
 営業部長：福田 義浩さんのことです。朝は元気な“おはようございます”の声、雰囲気パツと明るくなります。仕事も東西南北すべてかけまわるパワフルな方です。趣味は「釣り」らしいので釣りに興味のある方、大先生が教えてください！

酒呑童子の思い

～たくましく生きて欲しい～

夕暮れ時まで友達と、楽しく遊んでいた少年時代。一人またひとりと家路につく友達を見送る度に、いつかは自分一人になってしまう事は分かっていた。楽しく過ごした時間の後にくる、どうしようもない寂寥感（せきりょうかん）を、半世紀生きてきた今も時々味わうことがある。

多くのものを失い、無くし忘れてきたが、時として胸を締めつけるようなその痛みだけは、予兆もなしに訪れる。

若い頃妻が大塚にある盲学校に実習生として通っていたことがある。

子供達が何かできる様になれば、うれしいと泣き、ご両親の苦勞した話を聴くとまた泣き、車いすの子供がバスに乗り遅れたと言っては泣いていた。

極め付けは、3月の卒業式である。

卒業生を送り出し、彼女は疲れた足取りで帰ってきた。瞼（まぶた）が腫れて、まるでノックアウト負けしたボクサーの様だった。

ノーマライゼーション（障がい者と健常者の共同社会）とは程遠い、成熟しない社会に対する不満と、卒業した子供達が悩み苦しんだ時、そのサインを誰かわかって手を差しのべてあげて欲しいという切なる願いが、化粧ではごまかしの効かない号泣という形になって、見るも無残な顔にってしまったのだ。この顔でよく電車に乗って帰ってきたものだと思う。

夕暮れ時まで遊んでいた少年達は、どうしようもない寂寥感（せきりょうかん）を乗り越えて、いつか僕らの知らないうちに大人になるのだろう。できることなら沢山の友達に囲まれて笑顔で暮らして欲しい。

きっと、純粋な心とその素敵な笑顔が君たちを導いてくれるはずだ。



札幌市障がい者協働事業
共働事業所

きばりや

キ

バラネット☆☆
個性豊かなスタッフが共に働いています。

新年度に入り…

岡田 悟

軽作業を続けて5期目…よく続けてきたというのが正直なところですよ。

皆様のおかげで軽作業は次から次へと仕事を頂き、大変な思いをしながらも充実した毎日を過ごしています。売り上げも毎年上がっているようです。しかし毎年この時期になり総会を目前にして一年を振り返ると、来年もこの軽作業を続けていけるのだろうかと思ふときがあります。売り上げの中心となっているポスティングは、年を重ねるごとに年老いて確実に体力が落ちていく中で続けていける仕事なのだろうか。4年間きばりやで軽作業を続けてきて少しでも障害者従業員の中で働く意味に変化があったのだろうか。『共働』を考えたときに軽作業は合っている仕事なのだろうか。色々と考えてしまいます。

5期目に入りその悩みが解決するものではありませんが、きばりやとして少しでも前に進めるよう、そして一人一人が自分の仕事に誇りを持って向き合えるように取り組んでいきたいと思っています。

協力

濱中 孝仁

きばりやで新しい仕事にみんなで大たくさんティッシュをホチキスでとめて袋に入れることをうれしかったです。ポスティングにたくさんマンションに入れることがみんなと仕事を一緒に楽しかったです。新聞を折るのもたくさん2つ折りにして帯止めをして数を数えることを覚えました。自分で力を合わせてたくさんやって新しい人に教えるよろしくお願いします。

製本をしています。

石川 和寛

最近のきばりやでは製本、ポスティング、発送作業などの仕事をしています。

製本の仕事では機械で折った印刷物を丁合して、それを重ねて糊付けをして、十分に乾燥させてから1部1部本になるように剥がして、表紙を巻いて冊子にするという仕事をしています。製本で気をつけることは自分の場合、重ねた印刷物を押さえる時に少しずれたりすることがあるのでそこはいつも気をつけています。

最近の仕事について

織本 亜哉子

今回初めて南区までポスティングに行きました。時々住所が書いてないところもあり、今どこを配っているかわからなくなったり、最初に配ったところに戻ってしまったときもありました。配るのがちょっと遅いため、時々少ししか配れなくて指定されていた配布地域が残ってしまうことがあります。でも、自分なりに頑張っていていきたいと思えます。

ポスティングについて

星 悠

僕はポスティングをやってみて、なんか自分がいつも膝が痛い癖がでてきて、迷惑をかけてしまって、情けないと思って自分でイライラするから辛いです。あとは自分はストレス持ちでできないこともあり、自分の体力を考えても持つかどうかと思っています。これは自分の病気だからかもしれません。でも膝の痛みがあっても頑張って仕事

こんな仕事をしています。

このコーナーはきばりやで今までどんな内容の仕事をしてきたのか紹介するコーナーです。今回はポスティング(チラシ配り)を紹介します。

よくご家庭のポストにピザ屋のチラシが入っていることがあると思います。まさにそれです。新聞の折込などを利用して各家庭に配布する方法もありますが、他のチラシと一緒に見ないまま捨てられてしまったり、全家庭に届かないこともあり、1軒1軒ポスティングをした方が思いが届き効果があると考え方もあります。だから、私たちはそんな思いをこめられた印刷物をポストの中までしっかり入れ、急な雨などで駄目になってしまわないよう1部1部丁寧にポスティングをしています。

その他にも…

DM発送や封入・製本等を行っております。

きばりやにできそうなお仕事がありましたら、是非お電話いただければと思います。

TEL:011-669-3810 FAX:011-669-3808 西区西町北7丁目1-5 齊藤ビル1階

Cafe de kibariya



きばりやより新年度を迎えて…

岡田 悟

新年度が始まりCafe de kibariyaとしても4年目を迎えようとしています。3年間は基礎をしっかりと固めるために我慢だと教えを頂いたことがあります。はたして今後に生かすことのできる基礎を築き上げることができたでしょうか。やはりそこは皆様のご指摘を頂きたいところではあります。幸い前年度の中頃から予約や館内の配達が増え、売り上げも安定しつつあり、よく従業員同士で「1年目は大変だったねえ」と話せるくらいの余裕も生まれつつあります。とにもかくにも、今年度はその余裕を次の戦略に繋げることができるようにしていきたいと思っております。そして、今一度初心に戻り、きばりやがオープンした意義を確認することで私たちに何ができるか、何をしていかなければならないかを考えていきたいと思っております。

3年を振り返って

鈴木昭子

カフェが立ち上がってもうすぐ3年になります。

立ち上がった頃は「新しい仕事」ということもあり、毎日が緊張の連続でした。それでも、ほんの少しずつ周囲のスタッフ



や、仲間に助けられながら仕事に慣れていき、今ではコーヒーをおとしたり、配達の手伝いをしたりと段々この仕事の楽しさと面白さがかかるようになってきました。立ち上がってから、少しずつ少しずつですがお客様も増え、定着して配達などの依頼も増えて、3年目を迎えようとしている今です。お客様が増えてうれしいです。これからもスタート当初の緊張しながらも今の仕事が楽しいという気持ちを持って日々働いていきたいです。

☆従業員・山本滋基の好きなお勧めメニュー☆

①アイスティー

(ゴールデンアッサムの茶葉を使っています。)

②ゆずジュース

(高知県馬路村の村おこしジュース。きばりや人気のドリンクです。)

③大福セット

(大福もちとお茶で250円という安さと美味しさ。)

❖おかげ様で3周年を迎えます❖

5/16 (日) ~ 5/22 (土)

期間限定感謝プレート実施いたします。
お楽しみに。

なお、その期間中コーヒー150円にて提供いたします。

Cafe de kibariya

TEL/FAX:011-758-6533

札幌市北区北8条西3丁目
札幌エルプラザ3階ホール前

営業時間 11:00~18:30
定休日 年末年始

※エルプラザ内配達承ります。





コン・ブリオひだまり TEL(011)615-4131
 西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F
ひだまり配送センター TEL(011)613-0611
 西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F
 コン・ブリオひだまりに配送センターができました。

ひだまり配送センター

取り扱い商品の一例！

北海道で扱っているのは当店だけ！！
 滋賀県のがんばカンパニーさんが美味しく
 作ってくれた
 がんばクッキー 1袋 350円
 味はさまざま！ 季節商品もあります。
 全部の味を制覇してみてください。

出張販売先大募集!!

現在お世話になっているところ。
 ☆西清掃事務所 ☆特殊衣料 ☆西野ルート
 ☆山の手養護学校 ☆心療福祉専門学校
 ☆ほくろうビル ☆札教組 ☆西分会長
 ☆発達医療 などです。(敬称略)

イベントなどでお世話になっているところ
 ☆トヨタさん ☆トステムさん
 ☆八軒地区センターさん など

今年度から始めました！

☆密閉式容器生ごみ堆肥化セット
 ☆EMボカシ
 配送センターにて取り扱い中です！
 ☆大量に良質な肥料ができます。
 ☆酵素やビタミンが豊富です。
 ☆液肥の利用価値が高いです。
 ただし、ボカシ代がかかります。
 西区では配送センターだけ！？

コン・ブリオひだまり

キッチン お惣菜は全部手作り！

店舗営業時間 10:30～18:00
 食堂営業時間 11:30～17:30

店舗内で召し上がれます！！

- ☆かけうどん…300円～こだわりの和風だし使用。
- ☆カレーライス…450円～季節の野菜が隠し味に入っています。
- ☆日替わり定食…500円～毎日日替わりで提供しています。

メインの他3品！ご飯・お味噌汁付き。

☆食後のコーヒー…100円～店舗で扱っているフェアトレードのコーヒーです。

冷蔵品&有機野菜！！

- ☆豆乳を使用した飲み物…青汁・麦芽・ブルーベリー
豆グルト・マイルドコーヒー
- ☆すっきりしたのどごし…アセロラ・シークワサー
- ☆馬路村のゆずドリンク…ごっくん
- ☆歌登から仕入れています！…竹の子・フキ
- ☆毎週仕入れています…季節の有機野菜！何かあるかはお楽しみ♪

キッチン 今回のオススメ料理レシピ！
 『人参のゴマきんぴら』人参をたくさん食べましょう！！
 材料(2人分)
 人参1本、白いりごま 小さじ2分の1、ごま油 大さじ2分の1、だし汁 大さじ3
 しょう油 小さじ1、塩少々

- ① 人参は洗って皮をむき、長さ4～5cmのせん切りにする。
- ② ごま油を熱し、人参を炒める。
- ③ ②に調味料を混ぜ、ゴマを振って出来上がり～～～！
ご家庭でお試してください。

社会的事業所集団
傍楽亭
 はた らく てい

アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32
 テラ二十四軒1F
TEL 011-633-6666
FAX 011-644-0088

元気ジョブについて

山野 昌義

「アウトソーシングセンター元気ジョブ」は昨年10月に札幌市の委託事業としてスタートしました。

現在、障がいをもった方々が、札幌市内に約200箇所ある作業所で様々な作業・業務を行っています。印刷・清掃・軽作業など、作業所で受注可能な仕事は多種多様ですが、一般にはまだまだ知られていないのが実情です。我々元気ジョブはそんな作業所の方々に代わり、企業等への営業活動によって業務を受注し、作業所で働く方々の作業工賃の向上と安定を目的としています。

また、受注した業務が札幌市内の作業所では難しい場合には、北海道内のマッチング事業を行っている「障害者就労支援センター」と連携をとり受注調整を行っています。ただ一概に業務を受け斡旋するのではなく、各作業所のスキルや生産能力を把握し、場合によっては一つの業務を複数の作業所に分割して依頼することで生産力の不足を解消・業務範囲拡大に努めています。

また、類似の生産品を製造している作業所に商品の製造を打診・依頼すること、経験の無い業務へチャレンジする機会をみつけることにより、全体的な能力向上も目指しています。クライアントと語り合う中で、ニーズをくみ取り、こちらから提案させて頂きながら仕事を進めてまいります。

私達独自の目線で提案できる事があると思います。

仕事をクライアントと作業所の共同作業としてとらえ、お互い満足のいく結果を目指し努力してまいります。また、私達は一緒に働く仲間を求めています。

どの作業所も個々の能力に応じた仕事の進め方をしながら、互いに助け合い、笑顔の絶えない所ばかりです。

そして過去の仕事を研鑽し、意欲を持って日々の仕事に取り組んでいます。興味のある方は是非ご連絡下さい。

あんなしごとも、こんなしごとも・・・
 どんな仕事もまじめに一生懸命です。
 一度、施設を訪ねてみませんか。

施設で作業・業務を行っている障がいのある方の工賃(賃金)は・・・月に約10,000円・・・。
 みなさんの業務発注が、地域で暮らす障がいのある方の工賃(賃金)向上につながります。

ホームページはこちらから

元気ジョブ

<http://www.genki.job.jp/>

(札幌市委託事業)
 アウトソーシングセンター
元気ジョブ
 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32
 TEL 011-633-6666 FAX 011-644-0088
 E-mail: genki@hatarakutei.jp
 Open 9:30~18:00
 休日 第2・4土曜、日曜、祝日

ジンギスカン親睦会のお知らせ

ライフが法人格を持って今年で10周年を迎えました。この間、多くの方々からのご協力があり何とかここまでやってきました。つきまして、ささやかながら親睦会を開催させていただきたいと思っております。以下の日程・内容で行ないますので、もしお時間がありましたら、ご出席ください。

なおご面倒かと思いますが、出席者は、以下の連絡先までお電話いただければと思います。

また申し込みのメ切りは会場の都合により5月14日(火)迄と致しますのでよろしくお願い致します。

日時：2010年5月29日(土) 14:00から
(当日の午前中にライフの総会が行なわれます。)

場所：アサヒビール園白石 はまなす館2階Aホール
(北海道札幌市白石区南郷通4丁目南1番1号)

内容：ジンギスカン・鮭・ホタテ・海老食べ放題+飲み放題120分
予算：4000円
お問い合わせ：011-669-3810 (担当 きばりや 岡田 悟)



身体・知的障がい者 通所交通費助成について

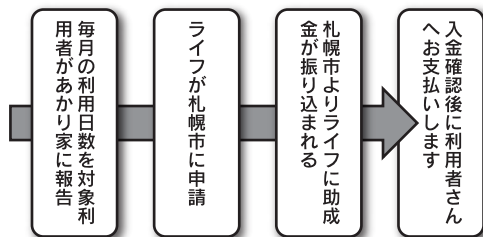
4月より障がい者交通費助成制度について、制度が一部変更になりました。それに伴い、定期的に通所する身体・知的障がいのある方に交通費の一部が助成されることになりました。

対象

身体障がい3～6級
知的障がいB・B-

内容

- ・1ヶ月につき10日を超える通所日数に対して、1月単位で助成。
- ・助成額は通所施設までの往復運賃の半額(交通業者による運賃引後の料金の半額)
- ・知的障がいBの方のうち、ウイズユーカードの利用が困難なために定期券で通所する方に対しては、上記の助成金に1月あたり4000円を加算。ただしこの加算を受ける場合はその年度内は障がい者交通費助成を受けることはできません。その逆も同様です。



ご不明の点がございましたら、各役所の保健福祉課もしくは、札幌市保健福祉局障がい福祉課まで。

札幌市保健福祉局障がい福祉課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

お知らせ

障害福祉サービスに係る 負担上限月額引き下げについて

市町村税非課税世帯の方について平成22年4月より障害福祉サービスに係る利用者負担上限月額が0円となります。

ご協力ありがとうございました

2009年11月～2010年3月まで

賛同会費

NPO 創生もえぎ 様

アドボケイト購読料

特定非営利法人 つむぎ 様
ワーカーズユープ札幌 現田 友明 様

寄付金

高井 健男 様
金子 彰夫 様
佐藤 均 様

菊谷 みどり 様
高井 健男 様
金子 彰夫 様
照井 正之 様

編集後記

ご心配をおかけしました。昨年の11月以降、アドボケイトの発行は停止。「共働のあり方」「組織運営のあり方」をめぐる議論が続いていました。結果、ライフが掲げる「共働」と、雇用される人との「共働」には違いがあることがはっきりした。まだまだ未熟な組織体だが、この「時間」は必要だった。来月から我妻編集長の下、定期発行が再開する。期待下さい。

専務理事 石澤 利巳

アドボケイト 卯月号 (第113号)

2010年4月10日発行 (毎月10日発行) 通巻第457号

HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会
細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
事務局長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1 F

TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323

E-mail npolife@beach.ocn.ne.jp

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485